

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年4月分:速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆256億円(伸率:▲1.3%) ⇒ 5か月ぶりのマイナス

・順位:15位、4月としては2位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(556か月、4月は47か月)による。以下同じ。】

・減少品目:自動車(同▲18.9%)、船舶(同▲24.1%)

○輸入総額:8,442億円(伸率:▲6.5%) ⇒ 3か月連続のマイナス

・順位:34位、4月としては4位

・減少品目:石炭(同▲40.4%)、半導体等電子部品(同▲19.1%)

○差引額:1,813億円(伸率:＋33.4%) ⇒ 3か月連続の輸出超過

・順位:35位、4月としては3位

為替レート: 2025年4月:147.70円/ドル(2024年4月:151.66円/ドルと比べ2.6%の円高)

<品目別動向>

○輸出

自動車(3,098億円→2,514億円、伸率:▲18.9%)は、アメリカ(998億円→715億円、同▲28.3%)及び中国(752億円→640億円、同▲14.9%)向けが減少し、5か月ぶりのマイナスとなった。

また、船舶(520億円→395億円、同▲24.1%)は、シンガポール(227億円→47億円、同▲79.4%)及びパナマ(100億円→30億円、同▲69.9%)向けが減少し、5か月ぶりのマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(1,276億円→1,715億円、同＋34.4%)は、香港(400億円→657億円、同＋64.0%)及び韓国(261億円→493億円、同＋89.1%)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

○輸入

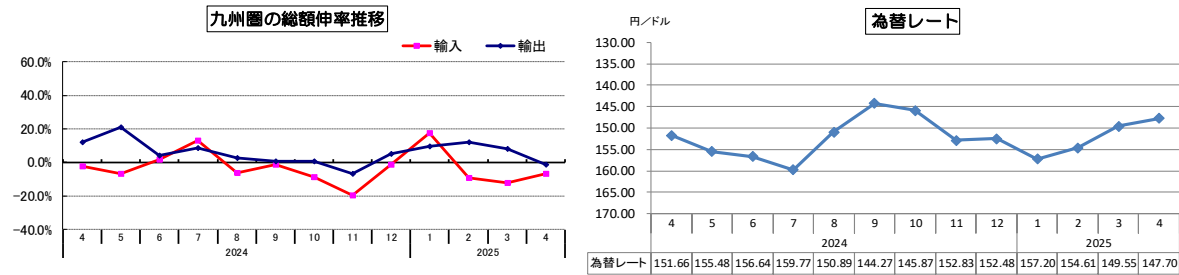
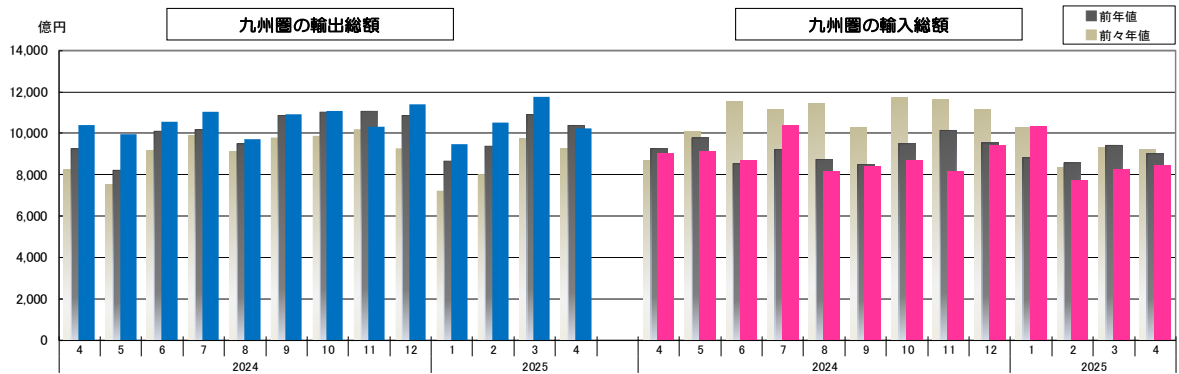
石炭(337万MT→306万MT、伸率:▲9.1%、991億円→590億円、同▲40.4%)は、オーストラリア(196万MT→209万MT、同＋7.0%、546億円→400億円、同▲26.7%)及びカナダ(39万MT→23万MT、同▲40.3%、182億円→61億円、同▲66.6%)からが減少し、4か月連続のマイナスとなった。

また、半導体等電子部品(679億円→549億円、同▲19.1%)は、台湾(591億円→472億円、同▲20.2%)及びEU(25億円→8億円、同▲67.0%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

一方、液化天然ガス(26万MT→39万MT、同＋50.6%、245億円→328億円、同＋34.0%)は、ロシア(実績なし→13万MT、実績なし→110億円)及びマレーシア(実績なし→7万MT、実績なし→65億円)からが増加し、3か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

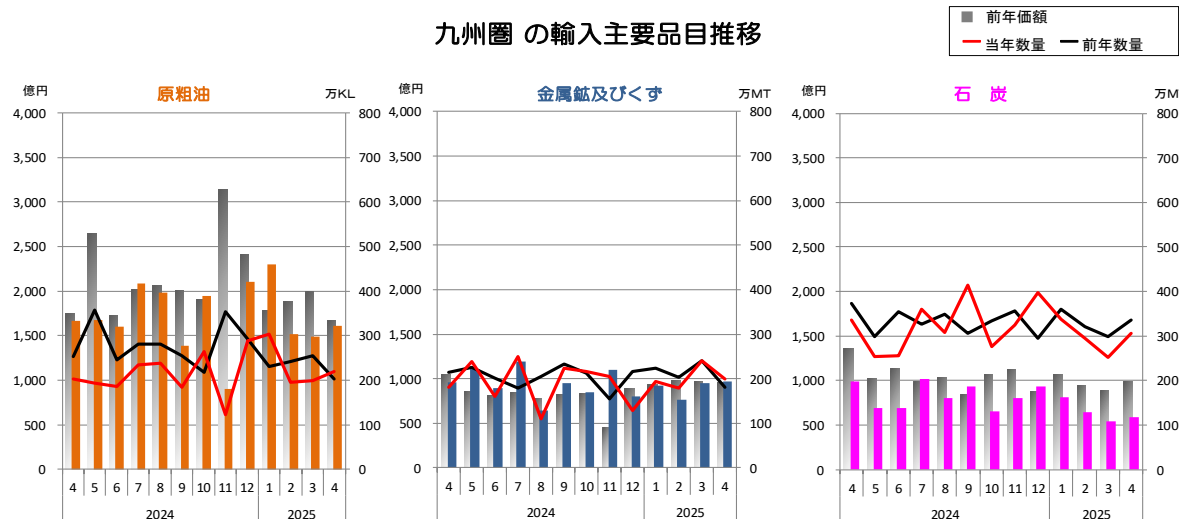
令和7年4月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。